

雄 飛



向陽高校進路便り 第103号
平成29年3月6日(月)
～臥龍鳳雛～

22期生センター試験まで

313

去った3月1日は、向陽生の皆で作りに上げた第21回卒業式が大成功のうちに終わり、無事に21期生を送り出すことができました。かと思えば、今度は高校入試で中学生がやってきますね。その間、皆さんには自由になる時間が多くあります。1年生も2年生も、新2年生・新3年生になるまでのこの期間を、是非有意義に過ごして欲しいと思います。

木村達哉の Power of Words 人生に効くコトバ & 【受験に役立つ!】グッとくる英語表現 (「蜚雪時代 2016年4月号」より)



Volume 28 : Without haste, but without rest.

(急がずに、だが休まずに - ゲーテ -)

受験勉強において大切なのは、「分析すること」、「始めること」、「続けること」、そして「埋めること」です。「始めること」は大事なのですが、始めるためには合格するために自分に欠けている部分を「分析すること」が不可欠です。まずは、各教科における自分の弱点を紙に書き出してみましょう。1科目あたり30分もあれば十分。全科目をやっても数時間で終わります。この分析をするのとしなのとは、その後の成績の伸びに天地の開きが出てきます。始めるための準備は、絶対に必要なのです。

分析が終わったら、いよいよ「始めること」です。いつまでにどこまで終わらせるのかという計画は重要で、それがないとダラダラしてしまいます。1学期の終わりまでに、各科目の基礎的な知識を頭に叩き込むことを目標にしましょう。急がなくてもいいのですが、休まず計画に従って「続けること」が大切です。

最終的に、自分の欠点を「埋めること」ができれば、皆さんは合格します。ゲーテの名言どおり、急がず休まずに自分の穴を埋め続けた人が、合格通知を受け取ることができるのです。作家の開高健が「悠々として急げ」と言っていますが、ニュアンスとしては同じなのでしょうね。分析もせずに大急ぎで本屋さんに向かい、人気の参考書を片っ端から買っているようではいけません。分析をしたうえで自分の欠点を埋め続ければ成功するという意識は、長い受験生活を通して強く持ち続けるべきです。

22期から23期へ珠玉の言葉 ～しくじり先輩とたれば娘より～

データベースを1周はしとくべきだった。もう少し早く目標を立てておけば良かった。(匿名)

勉強、趣味何でもいいから続けること。「何もしない時間」を長い時間過ごす心が腐る。(匿名)

とりあえず、できないことを放っておくのは本当にやめといた方がいいと思います。自分は数学が苦手です。そのままにしたので、今、とても後悔しています。今のうちで先生に聞けるところは聞いた方がいいです。本当にT_T (匿名)

暗記物をもっと頑張れば良かった。苦手教科の復習をもっと頑張れば良かった。(匿名)

3trial,チャートは本当に大事。毎日やってほしい。DBとこれ一番やった方がいい。今のうちから携帯離れした方がいい。(匿名)

DBと古文単語や動詞の活用形、活用の種類は大事。忘れたら2年の後半の模試でやってる意味ないくらいできなくなる。(匿名)

2年は基礎固めをした方がいい。勉強の量よりは、習慣をつけることが大切。(匿名)

部活や遊ぶことに気を取られている間に、勉強している友達と差がついてきた。授業でわからなかったところだけでも復習すべきだった。(匿名)

検定に積極的になっておいたほうがいい。興味ある分野のボランティアは参加したほうがいい。(匿名)

古文の単語や英語の単語をやっておけば良かった。センターの問題とか、模試の問題とか、単語を覚えるだけで解きやすさが変わる。(匿名)

もっと前から家庭での学習時間を増やせば良かった。向陽では部活はまったく理由にならない。

1年の時でDBの単語をしっかりと覚えたり、文法なども忘れずに毎日復習すればよかった・・・毎日の古文単語の勉強はやって良かった!! (さっちゃん)

賢者の言葉

～しっかり順調先輩より～

数学の章末テストをしっかりと勉強して受けたら意外と忘れにくい。DBは完璧にしておくとは分からない文章がほぼなくなる。(匿名)

もちろん勉強は大事だけど、それだけじゃなくて、留学関係や他のプログラムに積極的に参加したほうがいいと思う。(匿名)

夏休み明けや修学旅行明けなど、大きな休みがあった後の気持ちの緩みが激しく、勉強について行けなかったの、うまく切り替えられたら良いと思います。(匿名)

DBは大切。2年の早めから大学について調べておけばよかった。(匿名)

数学のペースが急に速くなるから、復習のクセをつければ良かった。(匿名)

1年の時から全力で何でもいいから挑戦してみよ。(匿名)

その時にすべき課題やテスト勉強は、後から力になるのでやった方がよい。(2年普通科男子のN.K.)

なぜ小説を「学ぶ」必要があるのか?
羅生門、山月記、こころ、そして

2年生へ 特別連載コラム③(最終回)

福田 園子

村上春樹が、地下鉄サリン事件の加害者オウム真理教の実行犯にインタビューした『約束された場所で』というルポタージュがある。あの事件は実行犯の青年たちが東大や有名大医学部卒業ばかりのエリート集団だったことが社会に大きな衝撃を与えたが、彼らの多くは「小説が読めない、ほとんど読まない」と本の中で証言している。ひとが心に持つ悪や闇は決して珍しいものではないが、多くのひとはそれを社会に適応させて昇華していく。その大きな役割を果たすのが小説である。物語に入り込み、その悪に自分を重ね憂さを晴らすのもよし、葛藤してる登場人物に共感を覚えるのもよし、泣き崩れる弱者の痛みを分かち合うのもよし。とすれば、国民を恐怖に陥れたあの地下鉄サリン事件は、物語に入り込むことを潔しとせず、自らの悪や闇を昇華させる術を持たない者が、過激な思想を持つ宗教の中で内に潜む悪を肥大化させた悲劇だと分析することができる。畢竟、小説の持つ力とは、自らの悪や闇を飼い慣らしながら、よりよく生きる選択を助けることではないだろうか。

最も大切なのは、教師の説明はもとより、ひとと意見を交わすことだ。諸兄の生きてきた十数年の一生は、まだ語れることが少ない。ひとは他人の生を生きることは不可能だ。しかし、言葉を交わし考えを伝え合うことで多くの思想に触れることができる。ひとの感想を聴いて、なるほどと思うひともいれば、そりゃ違うだろうと思うひともいる。新たな疑問や想いが生まれることもある。「山月記」「こころ」は戦後教科書の定番であるから、両親に感想を訊いてみてもいい。全国の高2生100万人が読むものだから、インターネットで意見を交わしてもよい。それは、独りで読む小説とは別の、他者との交歓(人が集まるとともに楽しむこと)である。

センター試験国語で「小説」がある限り、諸兄の主眼はいかに早く解くか正答率を上げるか、ということに置かれるやもしれない。しかし、李徴が戻りたいと懇願した「ひと」、「私」がKやお嬢さんとの関係に悩んだのも「ひと」、その生き方をテストだけに消費するのはあまりにもったいない。

学校で「小説」を学ぶことは、「じゃああなたならどうする?」を常に突きつけることである。